

平成28年11月25日

# 二宮町教育委員会会議録

(定例会)・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時 30分
- 2 閉会時間 12時 45分
- 3 教育長名 府川陽一
- 4 署名委員
- 5 出席委員

議席番号	出欠席	氏名
1	○	山内みどり
2	○	吉田美佳子
3	○	原道子
4	○	岡野敏彦
5	○	府川陽一

- 6 出席者氏名  
 教育部長兼生涯学習課長 鐘ヶ江 学  
 教育総務課長 黒石徳子  
 教育総務課指導班長 下澤純二  
 教育総務課指導班指導主事 新井久美  
 教育総務課指導班指導主事 永井貴幸  
 教育総務課教育総務班長 岩崎稔史  
 教育総務課教育総務班主査 寺口瑞紀
- 7 傍聴者 1名
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主査 寺口瑞紀

## 平成28年度11月教育委員会定例会会議録

日時：平成28年11月25日（金）

9時30分より

場所：二宮町町民センター2Aクラブ室

### ― 開会宣言 ―

（教育長）平成28年度11月定例教育委員会議を開催します。

### ― 署名委員の指名 ―

山内委員を指名する。

### ― 教育長事務報告 ―

（教育部長）11月教育長事務報告・政策会議報告を資料に基づいて行う。

（各課長）各課の事業報告・事業予定について資料に基づいて説明する。

- （原委員）政策会議結果報告の公共施設の再配置についてですが、学校の施設は公共施設の再配置とは別に考えるということについて改めてご説明いただけますでしょうか。
- （教育部長）学校施設の再配置については、小中一貫教育などもふまえて考えていくため、施設を減らしていくという公共施設の再配置の考え方にはあまり適していないということです。
- （教育長）学校も公共施設の一部なのですが、学校施設の利活用の中身が決まらない段階で再配置を行うのは、そぐわないということです。小中一貫教育などの中身を先によく話し合い、決めてからでなければいけないということです。
- （岡野委員）学校の施設が使えなくなってしまうと困りますので、教育は教育で一貫して、ハードもソフトも教育委員会で行うということですね。
- （原委員）町有地有効活用というのは、今あるハードのものを整理統合して行うというものだと思います。この考え方は、学校にも当てはまるもので、例えば、学校の校庭や体育館を開放するなど、有効活用を検討することも出来るのではないのでしょうか。学校の統廃合をする過程の中で、保育園と一緒にするなど、色々と有効活用する方法を考えることも出来るので、こうした部分は全体の中で考えていくことになるのではないのでしょうか。
- （教育部長）町長部局とは連携を密にしながらいっていきます。
- （原委員）政策総務部と教育委員会が検討を行う時期というのは、同じなのでしょう。どういう時期に行われるのでしょうか。
- （教育総務課長）まず今年度末には大まかな方針が出される予定となっています。この計画の中では、中長期的な30年後などを見据えた計画になる予定です。

- （教育長）学校については、小中一貫教育をふまえて統廃合を考えていくということで、学校施設は別に考えていくということになりました。
- （原委員）部署ごとに方針を考えていくことは当然だと思いますが、全体を通して考えていくという新しい発想も必要だと思います。耐震も済んでいる学校を他の目的に使っていく、学校の中に、地域の活動をする部屋を設けるなど、色々な活動を学校の施設を使って出来たらいいと思います。
- （教育長）学校施設について具体的なスケジュールはまだ示されていませんが、政策総務部から学校について小中一貫教育などの研究を行い、新しい提案を行うように促されたということです。
- （山内委員）どの部署が先導していくのかが、町民の方には見えにくいと思います。学校のコミュニティ・スクール、小中一貫教育などを進めていけるチャンスをもたらせたのなら、将来のビジョンを決めないと何も出来ないと思いますので、教育委員会でもう少し進めていけたらいいと思います。
- （教育長）教育委員さんにも色々意見をいただきたいと思います。
- （岡野委員）小中一貫教育を進めることによって、子どもたちにどういうことが出来るのか、先生たちにはどのようなメリットがあるのか、ハード面としてはどうするのかということが問題になってくると思います。ハード面としては、1つの校舎に一緒にしてしまうものと、隣接しているもの、別の施設だけれども教育は一貫していくものと3つあります。二宮町としてはどのタイプでいくのか、子どもたちにはどのようなメリットがあるのかなどを示して、そのような構造図などを具体的に描いていく必要があると思います。
- （山内委員）教育長報告の中の第2回一色小学校コミュニティ・スクール準備委員会についてですが、まだ町民への周知が不十分のように感じたので、PTAなどに対しても、もっとPRしていかなければいけないと感じました。
- （岡野委員）まだ具体的な目標が見えて来ないので、PTAとしては反応ができないのだと思います。今まで色々やってきたPTA活動と何が違うのかが分かりにくいのだと思います。
- （教育長）地域の人と人との関係が希薄になっている中で、学校が地域の中心となって、もう一度今の時代にあった地域のつながりを作っていこうというものです。発信の仕方も難しく、地域にすぐに浸透して、実現出来るものではないと思います。PTAと何が違うのかというと、地域が関わっていることで、保護者同士のつながりも、子どもが大きくなるにつれて希薄になっていかなないように、学校という場所が、地域再生の中心になっていけたらと考えています。防災などの具体的な取り組みをコミュニティ・スクールが担っていくことになります。
- （岡野委員）子どもたちには、地域愛、職業観をきちんと身につけ、芸術などの美しいものを見る目を持ってほしいと思います。その為には、地域の力が必要なのです。職業観を身につける為には、働いているお父さんたちの協力が必要です。地域愛には、町の中で働いている人たちの協力が必要です。こういう子どもたちを育てたいという目標をおいて、それを実現させるために、皆さんの協力が必要なのですということをお話ししていけば、色々な方の協力が得られると思います。お父さん方は家に帰ってから学校のお知らせを見ている時間はないかもしれませんが、例えば電車の中で見ることが出来るスマートフォンを活用して、学校のホームページを充実させる

など、学校の活動が目に見えるようにしたほうがいいと感じます。

- (教育長) 町としては、総合戦略や中期総合計画などで特色ある学校教育を行うことで、生きる力を育成したいと考えていますが、具体的にどのようにするかというのは、コミュニティ・スクールや小中一貫教育の中で課題として検討していくということです。
- (山内委員) 総合教育会議の中で、コミュニティ・スクールの理念などを話したような気がしますが、既に一色小学校の先生たちは、準備も始めているようですので、教育委員会でも具体的に動き出したいと思います。地域には色々な年齢の方や色々な事情のある方がいらっしゃいますので、それぞれの年齢のニーズに対応できるように、学校という場を中心として行っていただきたいと思います。
- (吉田委員) 学校からもコミュニティ・スクールについてのプリントが配布されましたので、少しずつ進んでいると思います。教育委員として意見を交換できる場を設けていただきたいと思います。次に、11月30日に行われる第4回社会教育委員会会議についてですが、どのようなテーマで行われるのでしょうか。
- (教育長) 青少年の健全育成がテーマとなっています。子ども会、恵友会、シニアリーダースクラブの加入者が減ってきています。ジュニアリーダー養成研修をやっても参加者が集まらない等の課題について、テーマを研究していきたいと考えています。
- (吉田委員) 恵友会という組織はどのような組織なのでしょうか。
- (教育部長) 恵友会は中学生のボランティアサークルです。
- (吉田委員) それを管理している大人はいないのでしょうか。
- (教育長) それが、青少年指導員になります。今のままでは子どもたちの参加者が少ないので、それを打開するための話し合いにしたいと考えています。
- (吉田委員) 図書館班のリサイクルコーナーの本というのは、あつという間になくなるのでしょうか。残ってしまうものなのでしょうか。
- (教育部長) あつという間に少なくはなりません。しかし、色々なテーマの本があるので、どうしても残ってしまう本もあります。
- (吉田委員) 残ってしまった本を古書店に出すことなどは出来ないのでしょうか。
- (教育部長) リサイクルコーナーの脇に募金箱を置いています。古書店に出すことは考えていません。残る本は、内容が古くニーズの低そうなものがほとんどで、古書店で取り扱うのは難しいと思います。
- (吉田委員) 少しでも財政的にプラスになるようなことが出来ないかと思ったのですが、難しいですね。以前庁用車をオークションに出したことがありましたが、売れたのでしょうか。
- (教育総務班長) 3台オークションに出して、3台とも売れました。
- (原委員) 教育総務課の就学時健診の時に、受診しなかったお子さんはいらっしゃったのでしょうか。
- (教育総務課長) 事前に具合が悪いと連絡をいただいた方が2名いらっしゃいましたが、その方々は校医の先生の所で健診を受けていただくように、ご案内をお送り致します。

— 付議事項 —

議案第11号 平成28年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書（案）について

（教育総務課長）平成28年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書（案）について資料に基づいて説明。

- （原委員）予算や経費を評価の中に入れた方がいいという評価委員さんの意見は、その通りだと思いますので、来年は検討していただけるのでしょうか。
- （教育総務課長）目標をきちんと持って業務を行っていくのが大切ですので、予算や経費を入れると達成度が分かると思います。それに伴って、様式も変えていかなければいけませんので、来年度に向けて考えていきたいと思います。
- （原委員）評価基準の表記の仕方も含めて考えていただけたらと思います。

議案第12号 平成28年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について

非公開

議案第13号 平成28年度二宮町一般会計補正予算（案）について

非公開

議案第14号 教育委員会事務局職員人事について

非公開

— 報告・協議事項 —

（1）平成29年度二宮町教育委員会当初予算要求について

非公開

（2）二宮町立小中学校に小中一貫教育校の導入を検討するにあたっての基本的な考え方（素案）  
（教育総務課長）二宮町立小中学校に小中一貫教育校の導入を検討するにあたっての基本的な考え方（素案）について資料に基づいて説明。

- （岡野委員）県立高等学校の改革との連携は考えているのでしょうか。
- （教育長）今回の素案を作るにあたっては、視野には入れていません。
- （吉田委員）高校の支援教育や中高一貫教育についての問題もありますので、視野に入れていく必要はあると思います。
- （原委員）考え方だけでも、きちんと把握していく必要があると思いますので、勉強会を行う際には、資料としてきちんと用意していく必要があると思います。

（3）第5回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について

（原委員）第5回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について資料に基づいて説明。

（4）二宮町・町内一周継走大会について

（教育部長）二宮町・町内一周継走大会について資料に基づいて説明。

（5）平成28年度神奈川県市長村教育委員会連合会研修会の結果報告について

（吉田委員）平成28年度神奈川県市長村教育委員会連合会研修会の結果報告について資料に基づいて説明。

（6）「ともに生きる社会かながわ憲章」について

（教育総務班長）「ともに生きる社会かながわ憲章」について資料に基づいて説明。

（7）その他

（教育部長）図書館協議会勉強会及び図書館協議会について資料に基づいて説明。

— 次回教育委員会予定 —

（教育総務班長）次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について資料に基づいて説明。

— 閉会宣言 —

（教育長）平成28年度11月定例教育委員会議を終了いたします。

12時45分 終了